

# 第 106 回日本陸上競技選手権大会・10000m

## 競技注意事項

### 1 競技規則について

本大会は 2022 年度日本陸上競技連盟規則・競技会における広告及び展示物に関する規程、**WA 規則**  
**TR5：シューズに関するルール再改訂部分**及び本大会の要項及び競技注意事項によって実施する。

### 2 新型コロナウイルスの感染拡大防止について

- (1) 当日検温で 37.5℃以上の場合、参加を認めない場合がある。大会 3 日前から当日の間に新型コロナウイルス感染の疑いの症状がある場合は参加を認めない。
- (2) 休憩待機所、練習場・招集等については競技役員の指示に従い、ソーシャルディスタンスを確保すること。
- (3) 飛沫拡散を防ぐ為、声を出しての応援、集団での応援や大声・近距離での会話を行わない。
- (4) 競技会終了後 2 週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者（日本陸上競技連盟）に報告すること。

### 3 招集について

- (1) 招集場は 200m スタート付近後方の「5 ゲート」奥に設ける。
- (2) 招集時間は競技時刻 30 分前開始、20 分前完了とする。
- (3) 招集の方法については、次の通りである。
  - ① 招集開始時刻に招集所で競技者係の点呼を受ける。その際、アスリートビブス・シューズ・**競技場内で着用するウェアや持ち込むバッグ類**の商標の点検を受ける。腰ナンバー標識（2 枚）を受け取る。
  - ② 携帯電話等、競技規則 TR6.3.2 に関わる機器を持ち込んでないか確認を受ける。
  - ③ 代理人による最終点呼は認めない。
  - ④ 招集完了時刻に遅れた競技者は、棄権したものと見なされ出場できない。

### 4 アスリートビブスについて

競技者は受付（国立競技場東側の青山ゲートに設置）でアスリートビブスと AD カードを受領すること。

### 5 競技場内への入場及び退場について

- (1) 競技者係の指示により、出発待機所（招集所付近に設置）からユニフォーム姿となりスタート地点へ向かう。
- (2) 競技終了後は、競技役員の指示に従いミックスゾーン及び PECCR（ポスト・イベント・コントロール・ルーム）を通り退場する。1～3 位の競技者を、入賞者控室に誘導する。

### 6 男子 10000m の番組編成について

- (1) 男子 10000m は 2 組タイムレースで実施する。
- (2) 2 組（競技日程確定後、競技順に応じて 1 組 2 組の順となる）  
競技運営上、下記①～④の合計 32 名で競技を実施する。  
32 名のうち 30 名は日本人競技者とする。オープンで出場を認められている外国人競技者は、2 名  
のみに制限する。

- ①第 105 回日本選手権男子 10000m 優勝者
  - ②第 105 回日本選手権クロカン男子 10km 優勝者
  - ③上記①,②を含む日本人競技者の資格記録上位 30 名
  - ④外国人競技者の資格記録上位 2 名
- (3) 1 組 上記 2 組以外の競技者
- (4) その他
- 4 月 28 日(木)12 時 00 分までに、2 組に出場する日本人競技者から欠場届が提出された場合は、1 組にエントリーされた競技者で資格記録上位の競技者を 2 組に繰り上げる。

## 7 欠場について

- (1) 欠場する者は、日本選手権大会規定の「欠場届」(TIC にも用意)に必要な事項を記入し、メール(jch10000m@jaaf.or.jp)で届けること。大会当日は TIC へ届けること。
- (2) 4 月 28 日(木) 12 時以降に欠場届が提出された場合は DNS とする。

## 8 競技用靴について

スパイクピンの長さは、9mm 以内。いずれの場合もスパイクピンの数は 11 本以内とする。  
シューズについてはWAの新規定が適用される。靴底の厚さは、800m以上の種目は 25 mmまでとする。  
詳細については別紙記載する。

## 9 結果発表と抗議について

- (1) 各種目の結果発表は大型スクリーンおよびアナウンスで行う。
- (2) 発表された結果に対する抗議は、TR7 に定められている時間内(大型スクリーンに発表後 30 分以内)に、競技者自身または代理人が、TIC (招集所横に設置)を通じて審判長に対して口頭で行い、控室で裁定を聞く。さらに、この裁定に納得できない場合は預託金(1 万円)を添え、担当総務員を通じて Jury に文書で申し出る。

## 10 表彰について

- (1) 各種目の 1 位から 3 位までの競技者の表彰は、正面スタンド前の表彰台で行う。
- (2) 1 位の競技者には、賞状とメダルを、2 位・3 位の競技者には賞状とメダルを授与する。

## 11 ドーピングコントロールテストについて

大会要項に記載

## 12 一般注意事項

- (1) 競技場内で着用するウェアや持ち込むバック等に表示されている商標は、「競技会における広告及び展示物に関する規程」に示すサイズ・個数を超えてはならない。これに違反したものについては主催者で処置する。
- (2) 応急処置、その他健康上の問題が生じた場合は医務室に連絡する。
- (3) 競技会での疾病・傷害等の応急処置は主催者が行うが、以後の責任は負わない。
- (4) 「記録証明書」を希望する競技者は、TIC に 500 円を添えて申し込むこと。
- (5) 荒天により競技を一時中断もしくは延期することがある。
- (6) コーチ AD カードは下記枚数を受付にて配布する。  
選手 1 名…2 枚 選手 2~3 名…3 枚 選手 4~5 名…4 枚 選手 6~9 名…5 枚  
以後 5 名増えるごとに+1 枚

### 13 練習会場の使用について（練習会場注意事項）

- (1) 大会前日 6 日（金）に国立競技場メインラックを使用し、12 時 00 分から 17 時 00 分までの間、練習を行える。
- (2) 6 日（金）は 12 時 00 分から国立競技場東側の青山ゲートから入場することができる。前日練習終了後 17 時 00 分までに青山ゲートから退場すること。
- (3) 7 日（土）は 17 時 00 分から 20 時 00 分まで 4 階コンコースと室内練習場にて練習ができる。練習の際は、競技役員の指示に従うこと。
- (4) 練習は、各個人が指定された場所・時間で行い、事故防止には万全を期す。なお、練習中に発生した疾病・傷害等については、応急処置は主催者において行うが、以後の責任は負わない。
- (5) 荷物などは、個人が責任を持ち管理する。
- (6) 会場内への入退場は、必ず AD カードを明示する。また、コーチは会場において、常に AD カードが確認できるように携帯する。

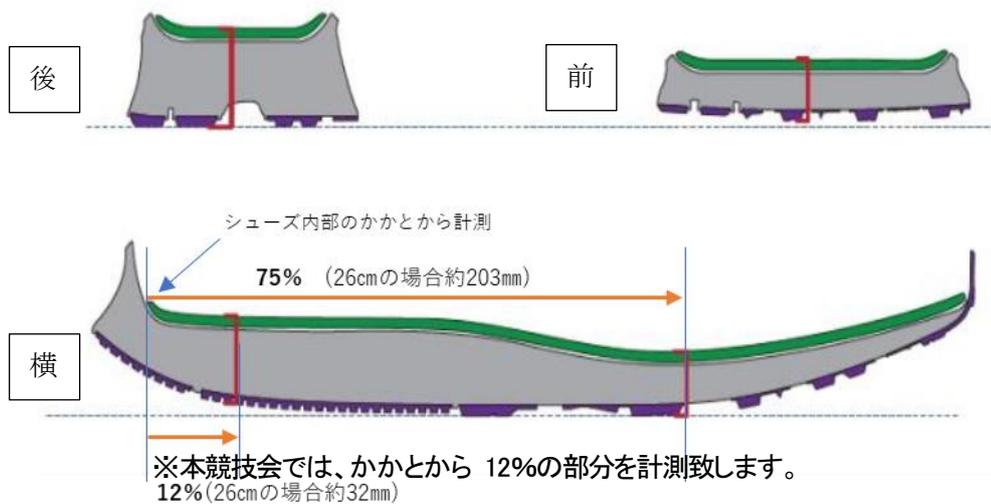
## 第106回日本陸上競技選手権大会・10000m シューズの規定についての留意点

### ●日本陸上競技選手権大会の競技規則について

本大会は2022年ワールドアスレティックス競技規則及び日本陸上競技連盟競技規則により実施する。  
シューズ規定については2020年7月28日から有効となった以下のシューズ規程で実施する。

1)シューズ(スパイク、ランニングシューズ含む)の厚さは下記の計測場所となる。

### 【靴底の計測場所】



### 【靴底の厚さ】

種目	ソールの厚さ	補足
800m以上のトラック種目	25mm以内	リレーにおいては、各走者の距離で本規則が適用される。競歩種目ではロード種目と同様とする。

※申込資格記録については、WA規則適用外の記録も認めることとする。